

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年10月30日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年10月30日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【共用プール低電導度廃液系のサンプポンプ(A)軸受グランド部の漏えいについて】 低電導度廃液系のサンプポンプ(A)の運転中に、軸受グランド部の漏えいを確認。 原因は、軸受グランドパッキンの劣化による緩みによるもの。今後、ポンプの軸受グランド部を増し締め予定。 低電導度廃液系は、サンプポンプ(B)に運転システムを切り替えて異常なしを確認済み。	GⅢ	10月25日